

# 第二地連新聞

発行責任	第二地連議長
編集責任	第二地連教宣部
東京労働	清掃組合
第二地連	

2012年1月1日  
第23号



2011賃金確定闘争第二地連総決起集会に臨む地連の仲間たち



東京清掃労働組合  
TOKYO SANITATION WORKERS' UNION

## 当面の予定

- ◎ 東京清掃2012団結旗開き  
1月18日(水)
- ◎ 第二地連2012団結旗開き  
1月24日(火)
- ◎ 第二地連2011年度年次総会  
3月22日(木)

2012年、東京清掃第二地連4区5支部の仲間の皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は、3・11東日本大震災により、死者・行方不明者が2万人にも及ぶ大災害が発生し、原発問題・風評被害・台風による大水害と多くの災害に見舞われた一年でした。自然の力に対し人間の力はあまりにも無力であることを思い知らされた一年でもあったと思います。

混迷が続く民主党政権の中で連合は、春闘の基本的考え方を「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、すべての働く者の生活が改善される取り組みとして位置づけて、公正・安心・安全な社会の実現に向けて邁進するとしています。

新自由主義の下、非正規労働者の拡大や、ワーキングプア、失業者の増大と、一向に景気回復の兆しが見えない状況です。

大阪市長選においては大阪維新の会の橋本氏が、各党派・政党の擁立候補を退けて当選しました。今の政治に対する国民のやり場のない怒り

の表れを象徴する形となった結果と言えらると思います。現業切り捨て、公務員削減攻撃は政治の世界においても財政再建の手法として活用される等、我々を取り巻く情勢は非常に厳しい状況であります。

清掃事業においても年々、車付雇上、工場の委託等、拡大している状況で、改めて区民密着型の清掃事業を確立していかなければなりません。現在実施している区民密着型清掃事業をさらに拡大し、区民と一体となる事業にしていくことが重要であります。

2011年の漢字は「絆」の一文字でしたが、2011年3月11日、絆の画数も11画と「1」の文字に何かと関わりのある昨年ではありましたが、今年は一步一步でも前進できるような横のつながりを大事に、第二地連4区5支部が団結し、さらなる支部強化に向けて頑張っていきたいと思えます。

どうぞ今年もよろしくお願いたします。

第二地連議長・金子寿夫



## 第二地連青年部

### 野口貴史 議長

一面トップ記事、第二地連金子議長による新年の挨拶に続き、第二地連青年部野口議長、および第二地連4区5支部の代表(委員長等)からそれぞれ、昨年を振り返っての今年の抱負など、挨拶をいただきましたので、以下ご紹介します。(編)

あけましておめでとうございます。我々青年部を取り巻く状況は年々厳しいものとなっており、退職不補充の方針の下、青年部は減少の一途となつていきます。現在青年部は、23区全体で約70名程となつてしまいました。この状況の中でこれから約30年働き続けられるのか不安で一杯です。

これから先、清掃事業としての職を守り、職のレベルアップを図ると共に、地連内での学習・交流等で横のつながりを一層強化していく事を再確認し、「退職まで安心して働き続けられる職場」「生命と権利を守る」事を目指していきたいと思ひます。

引き続き本年もよろしくお願ひいたします。共にがんばりましょう!

## 荒川支部

### 恵良伸介 中執



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は3月11日に発生した「東日本大震災」により東北地方が壊滅的な打撃を受けました。地震と津波で死

者、行方不明者は2万人、そして10ヶ月経ったいまも、避難所生活を余儀なくされている方が8万人もいます。我々・東京清掃からも仙台市、福島県に154人の仲間を送り出し、支援活動を行いました。まだまだ復興の目処はたつていません。そして福島第一原発の問題も未だに東京電力は事実を隠し、我々の耳にはなにも聞こえてきませんし、なんら進展もしているように見えません。

このような2011年は、我々・荒川支部にも衝撃的な年でした。年明け早々に「清掃事業の将来のあり方」が提案され、「退職者等の不足分は収集・運搬業務の委託で対応」と、当局の我々に対する考えが明らかにされました。「指導業務のみは現在従事する職員で行う」「具体的な体制

については状況の変化を見ながら必要に応じ検討する」という約束で、4月から第二地連内で初めて本隊に車付雇上7組(小プ14台、作業員14人)が導入されました。しかし車付雇上の組は保護具(ヘルメット、手袋、安全チョッキ、安全靴等)も統一されてなく、安全作業、分別ルール、住民対応の研修もまともに行われておらず、車付作業員は我々が考えるより劣悪な環境・低賃金で働かされているのです。これは区民から見てもサービスの低下であり、行政が責任を放り投げたということではないでしょうか。このような荒川区の無責任な考え方を2012年は改めさせる闘いを展開させていかなければなりません。

闘いの結果はすぐには出ないかも知れませんが、荒川支部、一致団結して今年も闘っていきましょう!

最後に被災地の一日も早いご復興と、皆様のご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 北支部

## 豊田孝之 委員長

第二地連の組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年は、未曾有の災害となった東日本大震災により甚大な被害がもたらされ、今もなお予

断を許さない状況が続いている中、仙台市、釜石市等災害支援、支援カンパに協力してきました。また、福島原発の事故の影響で避難されている方への衣類提供



等にも協力してきました。

また、2011年金確定闘争において、3年連続の月例給の引き下げなど、不満な内容であるが、勧告制度がこれまで果たしてきた役割や、公務員を取り巻く現下の情勢、労使による自主決着を図ることを踏まえれば、やむを得ないものとする事となったが、統括技能長設置基準に「その他、職務内容に応じて、任命権者が必要と認める場合に設置する」を加えることができた。

今年も厳しいことが多々あると思いません。ぜひ、組合員全員の連帯と団結で乗り切っていきたいと思えます。今年もよろしくお願ひします。

### 北工場支部

## 青木一吉 委員長

第二地連の仲間の皆様には、いつも大変お世話になっていきます。

今年も北工場支

部は少人数ながら、宿泊学習会・ボーリング大会・団結まつりなど、微力ではありますが

が地連の活動に参加することができました。

来年度は、もう少し人数が出せるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願ひします。



### 台東支部

## 江森正一 委員長

第二地連の組合員の皆様、明けましておめでとうございませう。台東支部を代表して新しい年のご挨拶を一言申し上げます。

昨年3月11日に発生した「東日本大震災」の復興にあたって、募金やボランティアや復興支援活動に協力していただいた方々、ありがとうございます。

ございました。昨年「絆」という言葉が話題になりましたが、組合活動も同じだと思います。地連内では学習会や好評だったパーベキュー大会を催しました。今年も皆さんと共にごんばりましよう。



### 文京支部

## 桐田達也 委員長



新年明けましておめでとうございます。昨年3月に発生した東日本大震災は、地震、津波、原発事故により未曾有の被害をもたらしましたが、発生から9ヶ月あまりが経ち、被災地では大きな悲しみを乗り越え一歩一歩復興に向けた歩みが始まっています。

昨年一年を表す「今年の漢字」は、人と人とのつながりを表す「絆」でした。「家族の絆」、「地域の絆」、「絆」にも様々な「絆」がありますが、文京支部は「組合員の絆」||「団結」を力

として昨年一年も運動を進めてきました。

文京区では3年前の「21年度作業計画」で粗大収集が委託されたことにより、資源収集と粗大収集がすべて委託されてしまいました。この「21年度作業計画策定交渉」から文京支部は、「文京区における責任ある清掃事業の実施」、「直営体制の堅持」、「新規採用の実現」を求めて闘いを展開してきました。節目で交渉委員ほか数十名を動員しての集団交渉や全組合員での副区長要請などを取組む一方で、

日常の作業実態に疎い職員課や議員などへの説明にも多くの時間を費やしてきました。

3年間の粘り強い闘いの結果、「24年度」からの「文京区行財政改革推進計画」の中に、「技能系職員については、引き続き、原則退職不補充とします。ただし、区民の安全・安心や生活環境（水害・雪害等の緊急時の対応を含む）を確保するために必要がある場合は、必要な人員を最低限確保します」を入れ込むことができました。この計画は5カ年計画です。最低でもこの期間は必要であれば人員を確保（新規採用）できるといふことです。大きな闘いの成果だと思っています。

公務員、特に現業労働者には厳しい風が吹いています。当分この風は止まないでしょう。しかし、文京支部はこれから「組合員の絆」||「団結」を基に精一杯進んでまいります。

手前味噌の挨拶になり恐縮ですが、本年もよろしくお願いたします。